

EUSI メールマガジン Vol. 008

「EUにおける『新自由主義』と『埋め込まれた自由主義』(工藤芽衣)

EUSI (EU Studies Institute in Tokyo)は、一橋大学・慶應義塾大学・津田塾大学の3校のコンソーシアムによるEUに関する教育・研究・広報を行う拠点です(詳しくは以下をご覧ください)

http://eusi.jp/content_jp/aboutus/about_eusi/

【EUSI Commentary Vol. 005】

「EUにおける『新自由主義』と『埋め込まれた自由主義』

工藤芽衣(津田塾大学国際関係研究所研究員・EUSI 研究員)

ユーロに関する最近の議論は、資本移動規制、緊縮財政と経済成長、流動性供給の適切性等に関して展開している。歴史的に見た場合、今日ユーロが直面している問題は、カール・ポランニが指摘した、金本位制下における経済的自由主義と民主主義の対立の、新たな形で表出にすぎない。

古典的金本位制の時代には失業という概念もなく、また参政権を通じた国政への参加も限られた人々にのみ与えられたものであったが、第一次大戦の総力戦を通じて事態は変化した。新たな社会的勢力が台頭した結果、国家がそれまで金本位制安定のためだけに向けていた金融政策や、均衡を目標としてきた財政政策を、社会的安定を実現するために行使していくことが求められるようになったのである。しかし、インフレ許容的政策と市場の信頼喪失は、金本位制の安定とは相反し、結局各国は金本位制を離脱していった。第二次大戦後ブレトンウッズ体制においては、戦前の経験を踏まえ、福祉国家実現のためのケインズ主義的な拡張政策を許容しつつ、貿易・為替の自由化を徐々に可能にするような枠組みがIMF・GATTを通じて形成された。また、国際経済体制の制度的枠組みだけでなく、政策決定者の間でも、自由主義に対する政治的社会的理由による制約への同意が形成され、「埋め込まれた自由主義の妥協」と呼ばれた。しかし、結局拡張主義的政策と国際収支不均衡を調整するはずであったIMFの枠組みはうまく機能せず、福祉国家も行き詰まり、70年代初頭、ブレトンウッズ体制は崩壊に至ったのであった。

(続きはこちら↓)

<http://www.hit-u.ac.jp/kenkyu/eusi/eusicommentary/vol05.pdf>

【EUSI 所属研究者による記事・執筆情報紹介】

「ECBの非伝統的な金融政策はどう変わるか」

日本経済研究センター「欧州債務危機レポート」・林秀毅 EUSI 主任研究員

<http://www.jcer.or.jp/column/hayashi/index120809.html>

「欧州の抱える2つの課題」

日本経済新聞・8月9日夕刊「十字路」・林秀毅 EUSI 主任研究員

<http://www.nikkei.com/article/DGKDZO44747060Z00C12A8ENB000/>

【EU に関するニュース】

- 2012年7月16日 EU 理事会、アフリカの角の海賊治安対策のため CSDP 文民使節団「EUCAP Nestor」派遣を承認
- 2012年7月16日 Eurostat、5月のユーロ圏貿易収支額(調整前)発表。69億ユーロの黒字。輸出は前年比6%増
- 2012年7月17日 欧州委員会、研究・イノベーション上の障壁撤廃・単一市場(ERA:欧州研究領域)創成策を提示
- 2012年7月17日 欧州委員会、マイクロソフト社をブラウザの競争法違反対策不履行の疑いで正式に調査再開
- 2012年7月18日 欧州委員会、日・EU EPA 交渉開始を加盟国に提案。ドゥグヒュト通商担当欧州委員、声明発表
- 2012年7月18日 欧州委員会、ルーマニアの EU 加盟後5年間の司法改革・汚職取組に関する評価報告書を発表
- 2012年7月18日 第14回日・EU シンポジウム「若年者のエンプロイアビリティの向上と労働市場参入の促進」
- 2012年7月20日 ユーログループ財務相会合、最大1000億ユーロ規模の対スペイン金融支援を全会一致で承認
- 2012年7月20日 欧州委員会、大規模研究助成計画(FP7)の内、日本との共同助成4分野公募を発表
- 2012年7月20日 欧州委員会、EU 食品・飼料早期警告システム(RASFF)に関する2011年度年次報告書を発表
- 2012年7月23日 東方パートナーシップ第3回外相会合、ブリュッセルで開催。ロードマップを採択
- 2012年7月23日 EU 外相理事会、対シリア武器輸出制限措置の強化を決定
- 2012年7月23日 欧州委員会・ECB・IMF トロイカ合同調査団、ギリシャ訪問。緊縮財政・金融支援の協議開始
- 2012年7月23日 欧州委員会、7月のユーロ圏消費者信頼感指数(速報値)を-21.6、EU27カ国同指数を-20.3と発表
- 2012年7月24日 欧州委員会、「EU 税関の知的財産権強化年次報告書」発表。2011年は1.15億点が税関で差止め
- 2012年7月25日 EU 外務理事会、初代 EU 人権問題特別代表にランプリニディス・ギリシャ元外相を任命
- 2012年7月25日 欧州委員会、最近の銀行間取引金利不正操作を受け、市場操作の規則・指令改正案を提案
- 2012年7月26日 バロゾ欧州委員長、サマラス・ギリシャ首相とアテネで会談。行財政改革断行を強く要求
- 2012年7月26日 ドラギ ECB 総裁「ユーロ防衛のためあらゆる手段を講じる用意がある」と発言、市場好転へ
- 2012年7月27日 独仏首脳電話協議。前日のドラギ ECB 総裁発言と同様の趣旨の声明を発表
- 2012年7月27日 アシュトン EU 上級代表・フィーレ欧州委員、ダッチ・セルビア新政権樹立に歓迎を表明
- 2012年7月27日 IMF、IMF4条協議に関するスペイン経済年次報告書発表。財政赤字は2016年にGDP比3%以下へ
- 2012年7月27日 2014年ユーロ圏加盟を目指すラトビアのビルクス財務相、ギリシャのユーロ圏脱退を主張
- 2012年7月27日 韓国・対外経済政策研究院、EU・韓国 FTA に関する評価と予測を発表。関税引下げ効果は限定的
- 2012年7月29日 緊縮財政派のバセスク大統領罷免を問うルーマニア国民投票実施。投票率50%未満で不成立へ
- 2012年7月30日 欧州委員会、セキュリティ産業競争支援のための行動計画を採択。共通基準や市場統合推進
- 2012年7月30日 ガイトナー米財務長官、シェイブレ独財務相とドラギ ECB 総裁と個別に会談、債務危機を協議
- 2012年7月31日 欧州委員会、アフリカの角(アフリカ北東地域)諸国に対し2200万ユーロの追加人道支援決定
- 2012年7月31日 国連事務総長、ピエバルグス開発担当欧州委員を2015年以降の開発課題ハイレベル委員に指名
- 2012年7月31日 Eurostat、6月失業率を発表。ユーロ圏11.2%、最大スペイン24.8%、最低オーストリア4.5%

【編集後記】

ロンドンオリンピックが終盤を迎えています。人々の関心がオリンピックに向かい、金融市場は夏休みモードであるため、欧州の危機的な状況が一旦落ち着いてきたかのように見えます。

しかし、8月2日のECBの政策発表に対する反応などをみるかぎり、危機打開の糸口は見つかっていません。こうした現状では、再び懸念が深まるきっかけは何か、という点が今後注目されてくるでしょう。差し当たっては、8月20日に予定されるギリシャ国債の返済に注意が必要ではないでしょうか。

(林 秀毅・EUSI・一橋大学・EUSI メールマガジン編集担当)

ギリシャその他欧州諸国の例を見るまでもなく、財政健全化のために抜本的な財政構造改革を行うというのは、国民にとっては痛みを伴い反発が大きいものです。政権は選挙で敗れることを恐れどうしても及び腰となり、問題が明るみになるまで放置し、そのたびに改革は遅れ、気付けば多少の荒療治では済まされなくなるほどの大ケガになってしまいます。

そのような中で、先日ポルトガルのコエーリョ首相が述べた言葉が強く印象に残っています。PIIGSと呼ばれた一国であるポルトガルもまた、公務員大幅減・増税・医療費負担増・民営化など、相当の反発を伴うほどの行財政改革を断行してきましたが、その後ポルトガルの経済指標は改善を見せるようになりました。コエーリョ首相は、ポルトガルが緊縮財政路線を取ることを次のように論じています。「われわれが現在進んでいる道は、正しいとか間違っているとかの問題ではない。唯一の可能な道だ」。そして「国を救うために国内選挙で敗れることになったとしても、それがどうしたというのか」(7月26日党会合にて) 現在日本でも、消費税増税や社会保障一体改革法案が審議されています。短期的に痛みを伴うものでも、長期的に正しい道になってゆくのであれば、国民として注意深く見定めてゆきたいと思います。

(林 大輔・EUSI 慶應分室・EUSI メールマガジン編集担当)

EUSI (EU Studies Institute) in Tokyo

〒186-8601 東京都国立市中 2-1

一橋大学 マーキュリータワー#3504 EUSI 事務局

TEL: 042-580-9117 / E-mail: info@eusi.jp

ご意見、ご感想、配信登録・配信停止、その他メールマガジンについての
問い合わせにつきましてはこちら

E-mail: info@eusi.jp
